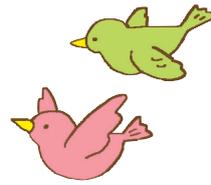


2

認知症のことを知っていますか？



認知症には様々な種類があります。

認知症とは、「いろいろな原因で脳の細胞が死んでしまったりして、脳の司令塔の働きに不都合が生じ、様々な障害が起こり、生活するうえで支障がおよそ6カ月以上継続している状態」のことです。

認知症には様々な種類があり、その種類によって、現れる症状や特徴は大きく異なります。また、ものわすれの症状を示す治療が可能な「認知症と間違われやすい病気」や、65歳未満で発症する「若年性認知症」などもあります。

アルツハイマー型認知症

特徴

ゆっくり進行していきます。記憶障害が著しく、特に最近の記憶(短期記憶)が不得意になります。

症状

料理の手順を間違えたり、趣味への関心がうすらぎますが、初期はそれらをとりにくろう様子が見られます。進行すると、もの盗られ妄想や道に迷うなどの症状が現れます。

血管性認知症

特徴

脳梗塞や脳出血などによって脳が障害を受けた部位の症状が現れます。脳血管障害の再発のたびに階段状に進行します。

症状

ものわすれ以外に現れる症状は、身体の麻痺や嘔下障害、言語障害などです。記憶障害があるわりには、しっかりしている部分も多い(まだら認知症)。

レビー小体型認知症

特徴

レビー小体というたんぱくが大脳皮質に蓄積されて発症します。筋肉のこわばりや手のふるえ、歩行障害などが特徴です。

症状

初期には、ものわすれの症状が目立たないことがあります。知らない子供がいる、虫がはっているなど、いるはずのないものが見えると主張する幻視を認めることがあります。

前頭側頭型認知症(ピック病)

特徴

ものわすれの症状は軽く、我慢をしたり、人を思いやることが難しくなるなど「人格変化」が起こる認知症です。

症状

状況に関係なく、同じ行動や言葉を繰り返す症状が見られます。暴言や暴力、万引きなどの行動を起こすこともあります。

症状から、認知症と「間違われやすい」病気もあります!!

一時的に現れる認知症のような症状は治る場合があります。

気づきのポイント

- 2~3カ月で、ものわすれが**急激**に進行した
- 最近、**転んで頭を打って**から、ものわすれが出てきた
- 身近な人の死などの**心理的な変化**の後に、ものわすれが増えた

などの場合は、せいじょうあつすいとうしやう まんせいこうまく か けっしゆ正常圧水頭症、慢性硬膜下血腫、甲状腺ホルモンの異常、うつ病などの可能性もあります。適切な治療により、ものわすれが治る場合もありますので、早めに受診してください。

